

入場無料!!

3月の参加者を追加募集中です!パパも一緒にどうですか?

今月注目の子育て情報紹介

ピックアップ インフォメーション

城東区「子育てするなら城東区」推進事業 「第10回スキルアップママカフェ」

育児についてパパの意見もお聞かせください♪ テーマに沿っておしゃべり会

日時 3月11日(日) 10:30~12:00

場所 城東区民センター 中会議室
(城東区中央3-5-45 4階)

定員 定員20組(要予約・先着順) ※城東区在住の方

内容 パパもいっしょにおしゃべり会
(託児なし)

【講師紹介】 光森 智香

心理ケアセラピスト。
「家族の幸せの原点はママの笑顔」をモットーに、安心して心が楽になる場を作る活動を行っている。



■申込方法 問合せフォーム、メール、電話で申し込みください。 ※申込締切3月10日

問合せフォーム メール mayuko@miyakojimaku.com
QRコードはこちら 電話 担当直通:090-6873-8519 (石井)
(対応時間:平日10時~17時)

主催:城東区役所保健福祉課(子育て支援室) 実施団体:NPO法人mamaコム

ママだけの参加もOKです!

第2回

子育てママ企画の/ つながりMAMAフェス

前回の開催に刺激をうけ、つながった地域のママたちが、もっとたくさんのママ・子どもたち・家族に笑顔届けたいと今年も企画しました♪みんなで、ゆるーくつながりませんか?

日時 2018年3月11日(日) 10:30~15:30

場所 クレオ大阪東 (大阪市立男女共同参画センター 東部館)
城東区鶴野西2-1-21 TEL.06-6965-1200

楽しい催しがたくさん♪

♡体験・販売・ステージ
♡飲食販売&スペース
♡アレルギー相談 など...

もっこ講習会
天草地方伝承のおんぶ紐
もっこ講習体験会
「もっことはどんなもの?」
先着8名様 ※事前予約制
http://mocco.shop-pro.jp

親子deヨガ体操

ママ&ベビの笑顔をつくるおやこヨガで、ココロとカラダを一緒にほぐしましょう!
対象:0歳児~3歳までのお子さんとその保護者
当日11時より受付(先着6組様)
https://www.oyakoyoga-greenplus.com/

※一部、有料の催しがあります。 ※当日、予定が変更する場合があります。ご了承ください。 メールアドレスのQRコードはコチラ
お問合せ マムファンタジーまで メールアドレス tunagarimamafes@gmail.com
主催: マムファンタジー、大阪市立男女共同参画センター東部館(クレオ大阪東)

入場無料

子づれDEどうぞ

パピーカーでの入店OK!
木の香りが漂う山小屋風の喫茶店☆

ご自宅を改装し、姉妹で運営されている喫茶店です。オーナーご自身が大好きなコーヒーとパンがあり、「このコーヒーとパンをみんなにも食べてほしい!」という想いでお店を開き、山登りが大好きなので山小屋風にしたという「大好き」が詰まったお店。Wi-Fiが完備され、終日禁煙。子ども用のドリンクもあるので、ちょっと一息つきたいときにおススメです。



喫茶 雲ノ平(くものだいら)
城東区今福西1-9-16
TEL.090-3920-8470 (営業時間中のみ)
6:00~17:00 不定休

発行 ■■■ 「子育てするなら城東区推進委員会」 06-6930-9857
編集 ■■■ 都島区.com、城東区.com
Text/石井麻優子 Design/maomao
協力 ■■■ 城東区子育て支援連絡会、喫茶 雲ノ平

* 取材協力店募集 *

「わくわく城東」では、紙面に子育て情報を提供して下さるお店、病院を募集しています。詳しくは下記、問合せフォームまでご連絡ください。
https://ws.formzu.net/fgen/S25077359/



ママがつくる、子育て「応援」情報誌

No.58

わくわく城東

平成30年
3月発行



春分の日

春の訪れを感じる

春分の日由来や食べ物について紹介します。暖かい春風、ぽかぽか気持ちの良い春の陽射しや日だまり、花の香り、芽吹き始めた木など、冬から春への移り変わりを探して、春を感じてみよう♪



豆知識

その1 地球の公転は、365日と約6時間かかるため、毎年、春分点を太陽が通り過ぎる時間がずれていくので、春分の日とは必ず同じ日にはならない。2019年は3月21日(木)、2020年は3月20日(金)。
その2 春分=昼と夜の長さが同じということになっているが、実際は「日の出」「日の入り」の定義や大気中の光の屈折などによって、昼の方が数分だけ長い。

春分の日(2018年は3月21日)
春分の日とは、1948年に法律で制定された「自然をたたえ、生物をいつくむ日」

ぼたもち? おはぎ? 春分の日に食べるのはどっち?

「ぼたもち」は春に咲く牡丹(ぼたん)の花になんてつけられた名前。小豆の粒を牡丹の花びらに見立てて「牡丹餅(ぼたんもち)」と呼ばれていたものが、やがて「ぼたもち」に変化したと言われています。一方、秋の「おはぎ」は「萩(はぎ)」から。秋の七草にも数えられる萩の花が、小豆の粒と形が似ているということから、「お萩餅」と呼ばれるようになり、「おはぎ」として定着したそうです。

おはぎは収穫後すぐの小豆を使うので粒あん、春は小豆の皮が固くなっているのでこしあんを使うことが多いです。ただ、地方によって定義が異なり明確なものではありません。いずれにせよ、「ぼたもち」と「おはぎ」が季節の趣を汲んだ、雅な由来を持つ伝統食なので、この機会にみんなで食べてみてはどうでしょうか。

並べてみるとよくわかります!



新刊よんでみて



はたらくくるま 作:パイロン・バートン 訳:あかぎ かずまさ
出版社:ポプラ社 2018年1月発行 23x26cm 32ページ

「さあ みんな しごとにかかろう いろんなくるまをつかってね」クレン車、ブルドーザー、ダンプカーにショベルカー...かっこいい、はたらく車が次々登場。太い輪郭線とあざやかな色使いで、シンプルに力強く、はたらく車の日を描きます。のりもの好きな子どもたちの心をとらえた1999年名作絵本の復刊です。

◆区役所ホームページからも、「わくわく城東」が見られます! *城東区ドットコムのホームページでも見られます!